

朝の館内放送

令和3年6月7日

おはようございます、市長の中村健です。

職員みなさんに、市長としての考え方や関心があることについて、直接メッセージを伝えようと、館内放送を毎月行ってきました。

市長という職は、行政の長であると同時に、政治家でもあり、市民の声を聞くことは、特に重要な役割でもあります。

この4年間、多くの市民の声をお聞きする中で、居場所づくりの大切さをととも感じました。

人間は、様々な顔を持っています。

家庭における顔、職場や学校における顔、地域における顔、友達関係での顔など。

しかし、時間に追われる生活を送っていたり、社会における寛容性が低くなっているせいか、心に余裕を持ちながら生活できている人は多いとはいえません。

そのため、自分が心を許すことができる場所、存在意義を感じられる場所を見出しにくい時代になってきているように思います。

メンタル上の問題を抱える人も増えています。

だからこそ、一人ひとりに寄り添った、きめ細やかな行政のあり方がこれまで以上に求められると同時に、私たちは、居場所があり、誰もが輝ける社会を創っていく必要があります。

「市民」と一括りにして考えるのではなく、様々な悩みや問題を持つ目の前の市民に向き合い、その人の力になれる、そんな西尾市でありたいと考えています。

以上で、朝の館内放送を終わります。